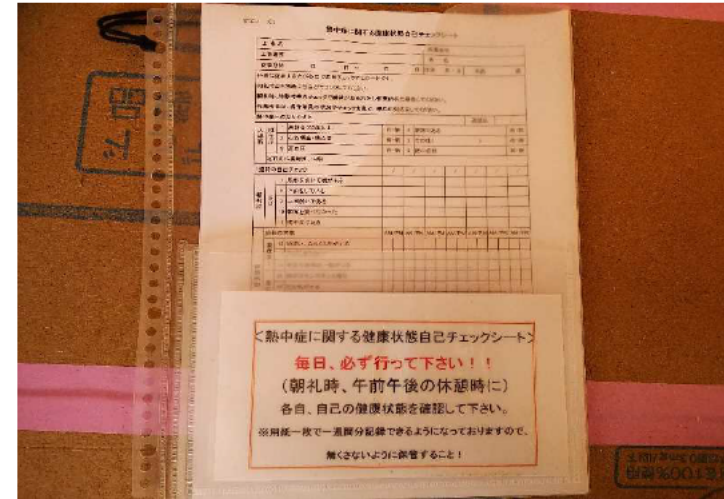


熱中症を予防するための「見える化」



- ・『熱中症対策マニュアル』、『熱中症予防運動指針』を現場の目につくところに掲示し、注意喚起を行うことで発生を最小限に防ぐ。
- ・熱中症の症状が発生した場合に、掲示物に記載されたマニュアル通りに沿って行うことで、スムーズな対応と要救護者の症状の悪化を防ぐ。



- ・現場に『健康状態自己チェックシート』を完備し、作業員自ら、自己の健康状態をチェックすることで、熱中症予防を行う。